

令和2年度 自己評価シート結果

認定こども園 下関短期大学付属第一幼稚園

自己評価(達成状況) 【 A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった 】

教育目標	教師や友達との信頼関係の中で、安定感をもって園生活を送りながら、自分で考えて行動し、主体的に活動する子どもを育てる。			
本年度重点的な取り組みの目標と計画	一人一人の子どもを大切にされた質の高い教育・保育の実践を目指す。			
評価項目	評価	今年度の取り組み	今年度の達成状況及び評価	来年度につなげていくこと
1. 子どもの主体的な活動を支援する	A	<p>①様々な体験を増やすことで、気付いたり、やってみたり、感じたりする気持ちが持てるように援助する。</p> <p>②教師との信頼感を築けるようにしっかり子どもの声に耳を傾け共感することで、安心して意欲的に取り組めるようにしていきたい。</p> <p>③一人ひとりの理解の仕方が違うので、その個人にあった関わり、指導ができるように心がける</p> <p>④子どもの意志を尊重しながら自分の力でできる喜びを感じることができるようにする。</p> <p>⑤登園から降園までの一日の流れの中で、身につけてほしい生活習慣の定着に向けて指導を行う。</p>	<p>①教材研究に取り組み、自分自身もマンネリ化しないように心がけた。</p> <p>②園内外で様々な経験ができるように計画し、実行することで子ども達の活動に対する意欲を感じることができた。</p> <p>③自分の余裕のあるなしで子どもに対して関わり方が変わってしまった。</p> <p>④その時期のそれぞれの子どもの様子に合わせて(排泄、箸の持ち方、片付け等)見ること、その他の子どもにも良い刺激となり、全体的に子ども主体の活動を行うことができた。</p> <p>⑤個別に連絡帳などで保護者に伝えたり、取組状況をクラスだよりや参観日、懇談会等で知らせ、家庭でも生活習慣が身につくよう連携を取りながら指導に努めた。</p>	<p>・0歳児から5歳児までいる縦割り保育について計画・立案し実践する。</p> <p>・年齢に応じた運動を行い、神経系の発達向上を目指す。</p> <p>・年間指導計画や週案・日案などの作成の改善(負担軽減、意味あるものにするには?)を図る。</p> <p>・子どもの長所を伸ばす保育を行うにはどうすればよいか。</p>
2. 安心・安全な教育環境を整備する	B	<p>①遊具だけでなく、様々な設備、備品についても点検、確認を心掛け安心して使えるようにする。</p> <p>②新型コロナウイルスが流行している中、保育室の消毒や換気、トイレ後の消毒をこれまで以上に心がける。</p> <p>③密を避ける為、給食時の配置設定、保育内容の見直しをする。</p> <p>④避難時の職員配置において役割分担を決め、職員間で内容を共有し、避難訓練を定期的に行う。</p>	<p>①日々点検を行うことで気になる所は、知らせるようにした。</p> <p>②週末はきちんと保育室を清掃して、衛生面や換気についてはできたように思うが、子どもたちのトイレ後の消毒は十分ではなかった。</p> <p>③密を避けるために給食時の配置設定はできたように思うが、保育内容の見直しについては、十分ではなかった。</p> <p>④未滿時での役割分担を話し合いで決め、事前に職員間の動きを確認するなどして避難訓練に参加した。</p>	<p>・緊急時(様々な状況を想定した)対策を考え職員間での共通理解を図る。</p> <p>・行事の見直し、新たな行事への取り組みについて検討する。</p> <p>・保護者の思いを受け止めながら子ども達にとってより良い環境を整備する</p> <p>・資格取得のための研修日を設ける。</p> <p>・保護者の仕事への理解を示し、安心して預けていただけるような対応をする。</p>

<p>3. 職員研修の充実を図る</p>	<p>B</p>	<p>①今年度は、コロナの関係でなかなか参加できる研修がなかったのは残念であったが機会があれば参加して報告会ができるような研修をする。</p> <p>②支援の必要な子どもに対しての関わり方を知りたい。</p> <p>③先生方から学んだ事を自分の保育の中に取り入れ、整理し、今後の保育活動に活かして行きたい。</p> <p>④未満児クラスにおいては、ミーティングを行い、共通理解を得るとともに、日頃から見直し改善を図っている。</p> <p>⑤今年度は園外研修は難しい状況にあるため園内での研修へ積極的に参加する。</p>	<p>①参加できる研修はほとんどなかった。(リモート研修には参加していない)</p> <p>②断片的には支援の方法等について調べて見たが、継続的な取り組みにはならなかった。</p> <p>③副園長や主幹教諭の先生に日常の保育の中でいろいろな視点から教えていただいたのでそれを今後活かしたい。</p> <p>④毎月、未満児担当全員で話し合うことで様々な視点から意見を得ることができ次回に活かす事ができた。</p> <p>⑤コロナ禍において園外研修へ参加は難しかったが第二幼で行われた研修には積極的に参加した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修の機会を積極的に設け、質の高い教員を目指す。 ・校務分掌の適切な機能を図るため、内容の整理を図る。 ・保護者のニーズを理解し、保護者対応ができる教師を目指す。 ・教職員間での実践研修により共有認識が保たれる取り組みを行う。
----------------------	----------	--	---	---

※ 3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果「一人ひとりの幼児を大切に質の高い教育の実践を目指す」は、ある程度実践できた取り組みもあるが、まだまだ十分とは言えない取り組みもある。今後は、課題を明確にし実践していく必要がある。

※ 今後、取り組む課題として、1. 教育内容の見直し、充実を図る。 2. 園行事の内容、園児募集に力点を置いた行事のあり方 3. 教職員研修の充実を図る の3項目とし、具体的な取り組み内容については、次年度の職員会で決定する。